

令和7年度第1回小松島市こども計画策定会議 議事概要

日時：令和7年8月25日（月）午後1時30分～

場所小松島市役所 4階大会議室

会議次第

1. 開会
2. 市長あいさつ
3. 委員紹介
4. 議題
 - (ア)市町村こども計画とは
 - (イ)小・中・高校生および若者に対するアンケート調査の集計・分析結果について
 - (ウ)小松島市こども計画の骨子案について

★議題（ア）について、事務局が説明（約6分間）

★議題（イ）について、計画策定支援業務受託者が説明（約55分間）

★議題（ウ）について、計画策定支援業務受託者が説明（約9分間）

【A委員】

アンケート結果を拝見しまして、大変わかりやすく、子どもや保護者、若者のニーズが浮き彫りになっていると感じました。委員長がおっしゃったように、まさにバイブルのような資料であり、こども計画の策定のみならず、まちづくりなど幅広い分野で役立つものになると思います。

特に、子どもたちが「幸福感を感じている」と回答した割合が全国平均より高い点が印象的でした。さらに幸福度を高めるために、「自由に勉強できる居場所がほしい」との意見がありました。予算面の課題はあるかもしれませんが、例えば空き教室などを活用することで、工夫しながら居場所を設けることも可能ではないかと考えます。

そのような居場所ができれば、新しい友達ができるきっかけにもなり、子どもたちの幸福度向上につながるでしょう。また、保護者にとっても安心材料となり、ひいては住みやすい町づくりに寄与するものになると感じました。アンケートで示された意見を、今後の計画にぜひ反映していければと思います。

【B委員】

アンケート調査の項目から非常に細かい情報が得られ、大変ありがたく思っております。

す。先月7月には、小松島市の各小学校・中学校においてタウンミーティングが開催されました。その際、「小松島の良いところ」や「将来の小松島像」について意見交換が行われましたが、今回のアンケート結果にも見られるような傾向が数多くあったのではないかと感じております。

【C委員】

今回のアンケート調査では、子どもだけでなく、保護者や若者も対象となっており、多面的な意見が得られていると感じました。子どもたちが「今後住みやすい町」を考える際には、小松島市が抱える災害リスクの大きさを無視できません。住みやすい町であるということは、すなわち「安全なまち」であることに直結するのではないかと考えます。

【D委員】

「徳島こどもまんなか大作戦」を拝見しました。小松島市が計画を策定する際には、徳島県の方針の影響を受けるのでしょうか。また、県の方針がある一方で、小松島市として独自に提言したい事項や、本市の計画に盛り込みたい内容を反映させることは可能なのでしょうか。

【E委員】

私自身、昨年小松島市で妊娠・出産を経験いたしました。その立場から、一人の母親としても、今回の計画を通じて子どもたちが住みやすいまちとなるよう、できる限りお手伝いしていきたいと考えております。

【F委員】

今回の調査結果を正確に計画へ反映させていくことが、小松島市ならではの計画につながっていくのではないかと考えております。

一点お伺いしたいのですが、ヤングケアラーの問題や、小学校5年生の子どもにとっては回答が難しい設問もあったのではないかと思います。その際、例えば教室で先生が一つひとつ説明しながら回答を促したのか、あるいは子どもたちが各自の理解で答えたのか、どのように対応されたのかを知りたいと思います。

また、子どもたちに関わるさまざまな相談機関の存在は、この計画の中でも重要だと考えます。相談機関の役割を明示し、一覧として資料に盛り込むことも有効ではないでしょうか。さらに、タウンミーティングで出された意見についても、計画に反映していくことを検討いただければと思います。

【G委員】

今回のアンケートについてですが、小学5年生・中学2年生・高校2年生に限定せず、より細かな年齢設定で調査を行えば、計画に反映できる事柄もさらに増えたのではないかと感じています。

また、この計画は令和8年3月に策定される予定とのことですが、もう一度、現小学5年生・中学2年生・高校2年生、そして保護者を対象に調査を行えば、計画を進めていく上でより確かな裏付けになるのではないかと思います。

さらに、出生数の減少についても触れたいと思います。待機児童について「ゼロ」を目標とすることは重要ですが、実際には「入所児童がゼロになる」状況の方が切迫しているようにも感じられます。この計画を通じて、少しでも人口減少の右肩下がりの傾向を食い止める方向にもつなげられればと考えております。

【H委員】

小松島市が「住みにくい町」と言われる理由を考えると、まず交通の便が不便であること、次に行ってみたい場所が少ないことが挙げられると思います。学校帰りに立ち寄れる場所がなく、市の中心部にも特に目立った施設がないと感じます。

子どもも大人も楽しめるようなまちづくりができれば、より住みやすい小松島市になるのではないかと思います。

【委員長】

貴重なご意見をありがとうございます。利便性の向上やにぎわいの創出、魅力あるまちづくりといった視点を踏まえながら、子育て世代が「小松島で子育てしたい」と思えるようなまちを目指してまいります。

そのために、「こども計画」に加え、市内での連携を強化し、さまざまなサービスや制度を整備しながら、計画の具体化に努めていきたいと考えております。